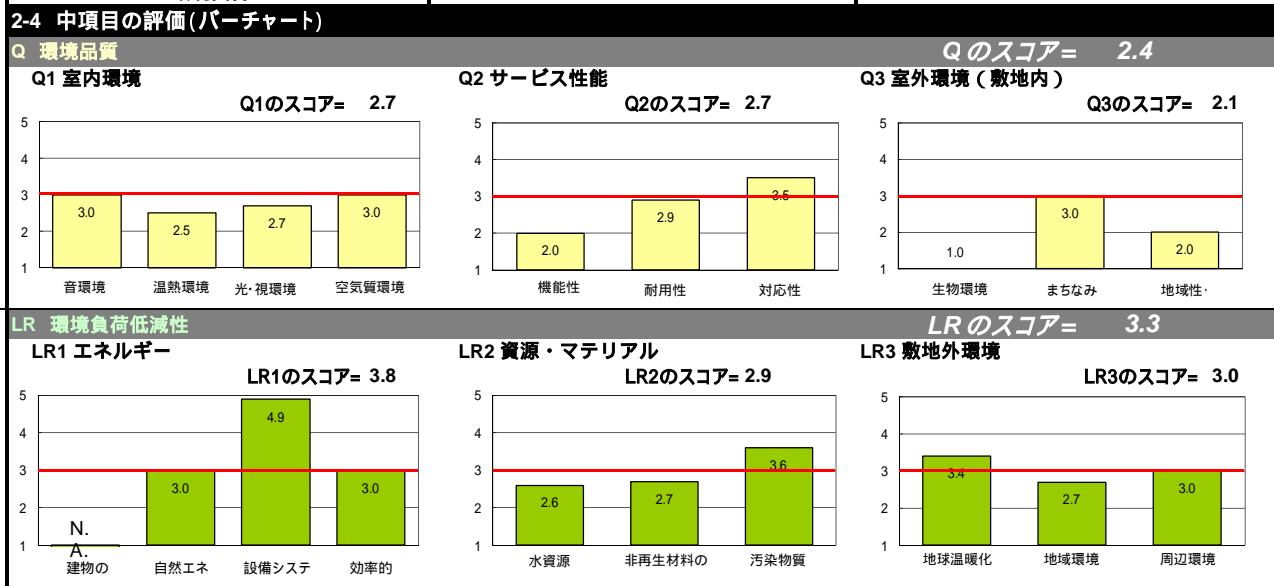
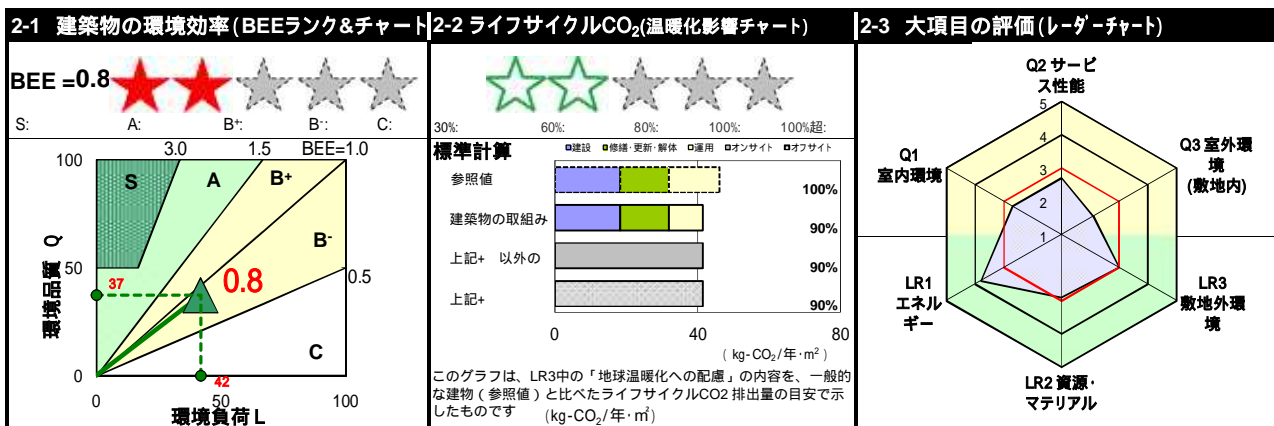


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木市岡田四丁目倉庫	階数	地上2F
建設地	厚木市岡田四丁目1394番1の一部	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	30人
気候区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年5月1日
敷地面積	2,996 m <sup>2</sup>	作成者	(株)イケン
建築面積	1,796 m <sup>2</sup>	確認日	2013年5月1日
延床面積	2,999 m <sup>2</sup>	確認者	(株)イケン

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 極力現況を高さ等を生かした計画とすることで無駄に残土、盛土の発生を抑える計画にするとともに、建物の位置を極力北側から離して計画することで敷地外周辺への日照に配慮した計画とした。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 壁に吸音材を使用することで遮音について配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 倉庫内の階高を高めに設定することで空間にゆとりを持たせた。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内の外周に緑地帯を設けることで敷地外からの景観に配慮した。	<b>LR1 エネルギー</b> 居室を極力外皮に面して計画することで自然採光、自然通風が確保出来る様配慮した。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 極力現況地盤の高さを変えず計画することで残土、盛土の発生を抑えるよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内に可能な限り緑地帯を設けることで地球温暖化への配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される